

1 道徳学習プログラムの構想

第3学年

テーマ いのち きらり かがやかせて!

めざす子ども像 自分のいのちを支えてくれているすべてのものに感謝し、大切にしようとする子	中心項目 3-(2) 生命尊重 関連項目 3-(1) 動植物愛護、 2-(4) 感謝
単元設定の理由 「いのち」は大切なものという観念的な理解はしていても、日頃はあまり意識しないままに過ごしていることが多い。また、さまざまな人に支えられていることや、動植物の「いのち」をもらって生きていることにも気づいている児童は少ない。そこで、総合的な学習の時間や社会科等と関連させたり、ライフスキルの手法を用いたりしながら、「いのち」をさまざまな支えられていることに気づかせていきたい。そして、感謝するとともに、大切にしていこうとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。	

時期	教科・特別活動 総合的な学習の時間	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	児童の意識の流れ
10月中旬・下旬	①国語・総合的な学習の時間 「食べ物がかせになろう」 様々な食べ物に生活が支えられていることがわかる。 ③「醤油ものしり博士の出前授業」 麹菌を使うことで毎日大豆を取り入れる工夫をしていることが分かる。	②心のノート p55 ④道徳 愛情をもって 3-(1)「ありがとう『オモチ』」 真以がどんな考えで「絶対忘れない」と誓ったのか考えることを通して、動植物を慈しもうとする心情を育てる。	朝の会 「二分間スピーチ」 帰りの会 「今日のきらり」 頑張りや努力を見つけ合い、ともに頑張る意識を高める。 自分のよさを伝え合い自信をもつとともに、互いを認め合う意識を高める。	①いろいろな食べ物を工夫して変身させ健康にさせるようにしてきたんだ。 ②動物も植物も私たちと同じように生きているね。 ③醤油も麹菌を使い毎日取り入れられるようにしているんだね。 ④最後まで世話をすることがいのちをあずかるということなんだ。 ⑤食べる人のことを考えて作っているんだな。 ⑥いのちを輝かせるために一生懸命生きないといけないね。 ⑦⑧いろんな人に支えられているな。 ⑨いのちをつなぐ知恵や支えを知らせていな。
11月上旬	⑤社会「ものをつくる人々」 野菜農家を見学することを通して、より安全で健康によい食べ物をつくる努力をしていることがわかる。	⑥道徳 いのちをかがやかせて 3-(2)「100万回生きたねこ」 いつまでも生きていたいと願ったねこの想いを考えることを通して、いのちの素晴らしさを感じせいいっぱい生きようとする心情を育てる。		
11月下旬	⑧学活「大切なものは」 (ライフスキル) いろいろな人やものに支えられて生きていることに気づくことができる。 ⑨総合的な学習の時間 「食べ物がかせになろう」 先人の知恵に学んだ食文化について発信することができる。	⑦道徳 感謝の気持ちをもつ 2-(4)「まごころ給食」 「まごころ給食…」とつぶやく私の気持ちの変化を考えることを通して、いのちを支えている人々に感謝し大切にしようとする態度を育てる。	読み聞かせ	

自分のいのちを支えてくれているすべてのものに感謝し、大切にしようとする子

道徳学習指導案

指導者 古蔵雅子

- 1 日時 平成19年10月24日(水) 5校時
- 2 場所 3年1組 教室
- 3 学年 第3学年1組 29名
- 4 主題名 愛情を持って
【中心項目3-(1) 動植物愛護 関連項目3-(2) 生命尊重】
- 5 資料名 「ありがとう『オモチ』」 (出典「小学どくとく 生きる力」 大阪書籍)
- 6 ねらい 真以がどんな考えで「オモチのことをぜったい、ぜったい、忘れない。」と誓ったのか考えることを通して、同じいのちある仲間として、動植物を慈しもうとする心情を育てる。

7 主題設定の理由

○ 動植物とともに過ごす時間を通し、心が癒されることが多くある。また、動植物を媒体として、人と人とのつながりが広がったり深まったりすることも多い。こうしたことから、人間と動植物は本来共存の関係にあると考えられる。しかし、人間に都合のいいように考え、ともに生きていることを忘れがちになるなど、動植物のいのちを軽んじる傾向も見られる。動植物の存在の意味に目を向け、いのちを感じ慈しむことは、人間への思いやりの心を育て、互いを大切な存在として接することにつながると考える。また、いのちをあずかる責任の自覚をすることも大切である。

この時期の児童は、飼育や観察に興味をもち、動植物に接する機会が多い。しかし、興味本位であったり、無意識のうちに動植物を傷つけたりすることがよくある。動植物のいのちを感じ、生きる意志や意欲に気づき慈しむ心を育てることが大切だと考え、本主題を設定した。

○ 本学級の児童は、ほとんどが今までに家で生き物を飼った経験をもっている。アンケート調査では、その生き物を飼うきっかけとなったのは、もらった・家の人がかかっていたが多く、自分が家の人にはたらきかけて飼っている児童は少なかった。学校での児童の様子をみると、当番としての動植物の世話はよくしているが、進んでかかわろうとする児童は少ない。また、ザリガニやバッタなどを飼いたいと捕まえては観察するものの、暮らしやすい環境をつくろうというところまでは思いが及んでいない。こうしたことから、児童は、生き物に興味はもっているものの、かかわり方が受動的であり、動植物のいのちを感じ、生きようとしている意志に気づくまでにはいたっていない児童が多いと考えられる。

○ 本資料は、学級で飼われているモルモットのオモチが病気になり、検査をした方がいいが、検査によってかえって死ぬ場合もあると聞かされ、「いのち」を救うために検査をするかどうか話し合われる。児童は検査をしないことを選択し、一度は元気になるが、数日後死んでしまう。主人公真以は、オモチのことを「絶対絶対、忘れない」と誓うという内容である。

主人公真以がどんな考えで「オモチのことをぜったい、ぜったい、忘れない。」と誓ったのか考えることを通して、同じいのちある仲間としての動植物への慈しみの心を育てることのできる資料である。

○ 指導にあたって、導入では、資料前半の検査をするか否か迷っている場面で、自分だったらどう考えるか意見交流をする。そして、どちらの立場も「オモチのいのち」を助けようと一生懸命な思いであることに気づかせたい。

中心発問では、「オモチのことをぜったい、ぜったい、忘れない。」と誓った真以は、どんなことを考えているのか考え意見交流することを通して、オモチをいのちあるものとして慈しみ大切に考えていることに気づかせたい。そして、真に動植物を大切にすることはどういうことなのか考えたい。

終末では、自分の体験と重ねながらワークシートに今日の学習で気付いたことや考えたこと、わかったことを書き、自己を見つめる中で、動植物のいのちを感じ慈しもうとする気持ちを高めていきたい。

本時は学習プログラムの第1次である。他の領域や教科と関連させながら、「いのち」についてさらに深めていきたい。

8 準備物 場面絵, ワークシート

9 指導過程

段階	学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点 支援(○)と評価(☆)
導入	1 資料「ありがとう『オモチ』」の前半を聞き、話し合う。	○ 自分だったらどうしますか。 ・麻酔をし、検査をする →原因が分かれば治せる。 このままでは死んでしまう。 助けるために何かしたい。 ・麻酔はしない。 →死んでしまうかもしれない。 一生懸命看病すれば治るかもしれない。	○ どうするか考えることを通して、どちらも「いのち」を大切にしていることに気づかせる。
展開	2 資料の続きを聞き、話し合う。	◎ 「オモチのことを絶対忘れない。」と誓った真以は、どんなことを考えているのでしょうか。 ・死んでしまっ、かわいそう。 ・助けられなくてごめんね。 ・オモチがいたから楽しかった。 ・クラスの一員だった。 ・忘れたらオモチがいたことが消える。本当に死んでしまう。 ・頑張ったオモチが心の中でずっと生き続けられるように。 ・オモチは大切なことをたくさん教えてくれた。 →いのちの大切さ、学級のまとめ、生き物を飼う責任 ・オモチを忘れないことがいのちを大切にすることになる。	○ ワークシートに書くことを通し、自分の考えをはっきりさせる。 ○ 大切に飼ったからこそ感じる悲しさや責任の重さについて考えさせる。
	3 自分の生活を振り返る。	○ 生き物と一緒にくらすとは、どういうことなのでしょう。 ・最後まで世話をする。 ・生き物にとってどうすることがいいのか考える。 ・できることを一生懸命する。 ・いのちをあずかっていることを忘れない。	○ 自分の生活と重ねながら考えることができるよう声掛けをする
終末	4 今日の学習を振り返る。	○ 今日の学習で、考えたことや気づいたことをワークシートに書きましょう。	☆ 動植物のことを考えて大切にしようという気持ちを高めることができているか。 【発言, ワークシート】

10 評価計画

(1) 道徳的実践力および価値の自覚の深まりに関する評価


評価の時期	評価方法
(ア) 事前	行動観察 (動植物へのかかわり方), アンケート調査, イメージマップ
(イ) 事中	発言, ワークシート
(ウ) 事後	行動観察 (動植物へのかかわり方), 日記, イメージマップ

(2) 本時の指導過程や指導方法に関する評価


指導に関する評価	・「絶対に忘れない。」と誓う真以がどんなことを考えているか考えることは、動植物をいのちあるものとして慈しもうする気持ちを育てるのに有効であったか。
児童に関する評価	・自分と重ねながら振り返ることを通して、動植物のいのちの大切さやいのちをあずかる責任を感じているか。 【方法：発言, ワークシート】

11 板書計画


10/24 <ありがとう「オモチ」>



まずいで死ぬかも
きけん
世話をがんばる



このままでは助からない
原因が分かれば助かる
何かしたい



↓


何とか助けてたい, いのちを守りたい

できることを一生けん命する
「いのち」への責任をもつ

↑

『オモチのことをぜったい、ぜったい、わすれない。』

助けられなくてごめんね。
クラスの一員だった。
忘れたらオモチがいたことが消える。
大切なことをたくさん教えてくれた。
→いのちの大切さ, 学級のまとまり, 生き物を飼う責任
オモチを忘れない→いのちを大切にする




ありがとう『オモチ』


10月24日

3年 組 番 ()

☆ 「オモチのことをぜったい、ぜったい、わすれない。」とちかった真以は、
どんなことを考えているのでしょうか。



☆ 今日の学習で分かったこと、考えたこと、気づいたことなど書きましょう。



- ◎ 自分の考えが発表できましたか。 はい いいえ
- ◎ 友だちの考えを聞いて勉強になりましたか。 はい いいえ
- ◎ 今日 一番 心にのこったことは何ですか。

